

2007年1月29日

デジタル超音波探傷器の導入についての公表

社団法人 日本非破壊検査協会

当協会が実施している JIS Z 2305 に基づく認証制度に関する超音波探傷試験技術者の資格試験及び講習会に用いております超音波探傷器につきまして、市場の動向がアナログ探傷器からデジタル探傷器への移行に伴い鋭意デジタル化の検討を進めて参りました。2006年5月に探傷器メーカーにご参加頂き、デジタル超音波探傷器導入の説明会を実施致しました。当該探傷器につきましては JSNDI の講習会、資格試験に支障のないようにすることを前提に JSNDI 仕様として各社に提示しました。2006年10月に見積書及び仕様書の提出を求め、書類選考のうえ JSNDI 仕様を満足しているメーカーのプレゼンテーションを11月に実施し、仕様、保全、金額を含め総合的に12月に最終選考を行いました。その結果、今回要求していましたデジタル超音波探傷器 20 台につきましては発注先をオリンパス NDT 株式会社に決定致しました。

当協会が導入するデジタル超音波探傷器の機能及び操作方法については、受講者及び受験者に公平になるようメーカー独自の仕様ではなく、JSNDI 仕様と致しました。また、今回（第1次入札：2006年度）は発注台数を 20 台と致しましたが、超音波講習会及び、実技試験の対応のためには更に探傷器が必要であり、今後も同様の（第2次入札：2007年度を予定）発注を計画しております。

講習会及び資格試験へのデジタル超音波探傷器の導入時期については現在のところ未定です。実技講習会及び資格試験が年2回実施されていることなどを勘案し、準備が整い次第講習会より導入を開始し、時機を得た段階で資格試験に導入していく予定です。具体的な導入時期につきましては、決まり次第ホームページ及び機関誌にてご案内申し上げます。

以上